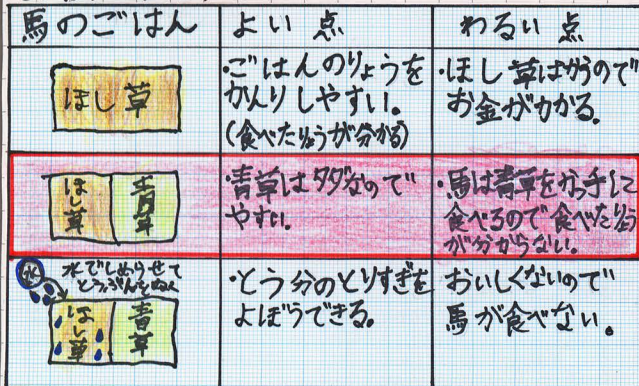
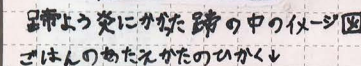
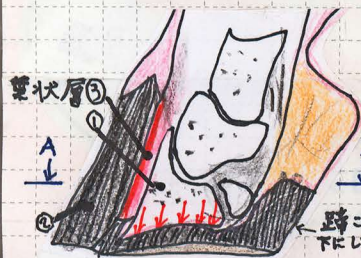
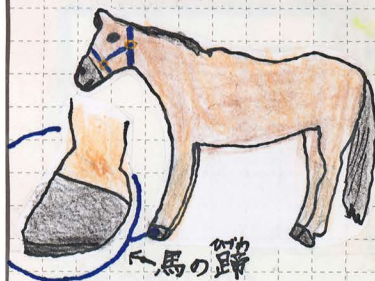




へんしゅう後記

ミカンちゃんのびよ  
う気が分かつたとき、  
ぼくじょう長は、  
自分のせきにんたし  
と言いました。私は  
踏よう炎についてしり  
やて、馬のけんこうか  
んりが大切だというこ  
とを知りました。もし  
かしたり、もつと気を  
つけていればふせやた  
かおしれないからぼく  
じょう長がそういう  
ことを言ったのかな  
と思っています。このこと  
をおぼえて、しょうら  
い馬のしごとについた  
らいがしていきたくで

馬がびょう気に!  
どうするべきか?

蹄のびよう気  
 いのちにかかわる！

蹄は大きな馬の体をさ  
 さえる土台です。土台が  
 びよう気になると立って  
 いることができません  
 ことがあります。立って  
 いることができなくなる  
 と、体の大きな馬には、

う炎」といふびやうな氣にかかりました。ようすを  
見に行くと、ミカンチャ  
ンは一本だけ足をうかし  
て二本足で立っていました。  
うかす足をじりり人ば  
んに入れかえていて、と  
の足もいたそうでした。

馬の足には蹄（人間の足の指のようなもの）があります。その蹄の中には蹄へきと蹄こつという部分があつて、葉状層によつてつながつています。この葉状層がこわれてしまふと、蹄へきと蹄こつがはなれてしまひ、炎しうをおこします。これを蹄よう炎といひます。

いのちのきけんもありま  
す。うんとうがでまなく  
なると、うんちを出せな  
くなるのです。その蹄の  
かよう気のひとつが蹄よ  
う炎です。

**蹄よう炎とは？**



どうして踵よう炎になったの!?

ミカンちゃんが踏よ  
う虫になつたげんいん  
は青草の食はずぎです  
馬ははし草や青草を  
食ひます。春先の青草  
にはとう分が多くふく  
まれていて、馬にとつ  
てはあまりよくないとい  
ふはんです。そのため  
食はずぎでしまつて、  
とう分のとりすぎにな  
たのです。

蹄よう炎の  
しょうじうは？

今ミカンチャンの蹄  
は葉状層がこわれて、  
蹄へまゝと蹄こつかはな  
れていきます。食やすぎ  
で体重がおもくなつて  
しまひ蹄こつが下にし  
すんで、いたみが出て  
いるそうです。

ニカンチヤンを  
すくうための  
ほうほうは？

蹴こつが下に下  
がっているのので二  
れ以上おろくさせ  
ないためのちりや  
うと目ごちのおせ  
わが大切です。

1. いたみ止めのち  
うしや

2. 青草を食はずぎ  
な口ようにする

ため

(1) ほうぼくじか  
人をきめる

(2) 草の長さをみ  
いかくする

(軍かりし)

食じのかんりを  
して体をはるくし  
ます。

ミカンちゃんのけんこうチェック

馬は体が大きくて、体重をはかることがむずかしいのだ、むねまわりの長さをはかると体のへんかをきろくしているそうです。

一カ月半がたつてミカンちゃんはまだ少しやせて体はもう少しすくなく、てきました。ちりうをつづけて一日でも長く生きてほしいです。